

県P情報

No.112

2009(平成21年)年9月15日

7万会員のための情報紙

YAMANASHI

発行/山梨県PTA協議会 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目9-10 TEL.055-228-1342

発行人/会長 天野 一 編集/山梨県PTA協議会情報委員会 印刷/総合印刷 王文社

天地人



山梨県PTA協議会

会長 天野 一

「天地人」とは、現在放映されているNHKの大河ドラマのタイトルで、その語源は孟子の教えから来たと言われていま

孟子曰く

「天の時、地の利に如かず。地の利は人の和に如かず」この言葉の意味合いは、物事を成功させるための3つの条件に「天の時」「地の利」「人の和」があるが、その中でも「人の和」が一番大事であるという意味であります。

皆様もご承知の通り、今年10月16・17日の2日間、第41回日本PTA関東ブロック研究大会を山梨の地・富士北麓で開催いたします。

県PTA協議会でも、3年前より準備委員会・実行委員会を

開催し、多くの役員の皆様のご協力のもと準備を積み重ねてまいりました。そしていよいよ開催まで1ヶ月となりました。まさに「天地人」であります。

私たちの思いは、大会スローガン「富士山発 子どもたちの未来へ」の通り、関東や全国に向けこの大会から何かが発信でき、日本全国の子どもたちがより良い未来を過ごすことが出来る環境づくりが出来ればと思っております。

更にこの山梨大会を契機に、県内のPTA会員が一丸となり学校・家庭・地域社会の架け橋となるPTA活動の機運を更に高めて行きたいと考えております。

ご理解とご協力そして多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

10月16日(金)

分科会構成と研究課題

下記の各会場にて

分科会	研究課題	発表	会場(参加人数)
第1分科会 組織運営	会員相互の結びつきを強め、新しい時代に即応できるPTAの組織・運営について	新潟県 埼玉県 茨城県	忍野村民ふれあいホール (350人)
第2分科会 家庭教育	子どもたちの健やかな自立を願い、親や家庭の果たすべき役割を支えるPTA活動について	A 食育	静岡県 横浜市 千葉県
		B 情報モラル	埼玉県 山梨県
		C 家庭の教育力	長野県 群馬県
第3分科会 健康安全	子どもたちに、健康安全の大切さを知らせる、家庭・学校・地域で出来るPTA活動について	長野県 静岡県	山中湖村公民館 (350人)
第4分科会 人権共生	子どもたちに思いやりの心と共に生きる力を育むためのPTA活動について	千葉県 さいたま市	富士ふれあいセンター (160人)
第5分科会 地域連携	子どもたちの成長を、学校・家庭・地域が一体となって守り育てるPTA活動について	神奈川県 栃木県 千葉県	勝山ふれあいセンター さくやホール (350人)
第6分科会 広報・IT	情報化社会に対応した、より分かりやすい広報紙づくりやより良い情報機器使用を普及・支援するPTA活動について	群馬県 川崎市	なるさわ富士山博物館 フジエポックホール (260人)
第7分科会 国際理解・国際交流	子どもたちが国際社会を意識・自覚できるPTA活動について	茨城県 山梨県	恩賜林庭園・林業センター (160人)
第8分科会 環境学習・環境保護	環境問題に主体的に関わり、子どもたちの豊かな感性を育てるPTA活動について	横浜市 山梨県	環境科学研究所 (180人)

10月17日(土)

全体会・記念講演 「富士山から 日本を変える」

アルピニスト 野口 健氏

富士山アリーナ

平成21年6月6日(土) 東京エレクトロン 韮崎市文化ホール

県P定期総会を開催

山梨県教育委員長 古屋知子様をはじめ、多数の来賓を向かえ定期総会が開催されました。天野会長から20年度の総括と活動協力への感謝を述べ、さらに今年開催の関プロ山梨大会への協力をお願いがあり、20年度事業報告と決算報告、21年度役員承認、事業計画案と予算案に続き、関プロ事業計画案、予算案、など承認されました。また、親子安全会定款の一部改正の承認と給付規定の一部改正の報告など親子安全会・扶助会についての話し合いがされました。

21年度スローガン

「富士山発 子どもたちの未来へ」

— 育もう 人への思いやりと 自然に対するやさしさを —

基本方針

- 1 学校・家庭・地域社会の連携を深め、各単位PTAを支援する運動を推進する。
2 PTA関プロ山梨大会の成功に向け、県・都市・単位PTA間の連携活動を推進する。
3 会員相互の結びつきを強め、新しい時代に即応できるPTA活動を推進する。
4 子どもの健やかな成長を願い、親や家庭の果たすべき役割を支えるPTA活動をする。
5 子どもたちに思いやりの心と、共に生きる力を育むためのPTA活動を推進する。
6 子どもたちの国際交流や環境問題を意識・自覚できるPTA活動を推進する。
7 心豊かな青少年の育成を目指した教育諸団体と連携し、教育条件整備を推進する。

事業計画

- 1.山梨県PTA協議会の運営
◇定期総会、理事会、常置・特別委員会
◇関プロ実行委員会
2.教育相談・調査研究・情報収集提供・政策提言事業
◇教育四者による教育相談活動等
3.PTA社会教育・家庭教育に関する教育研修及びイベント普及事業
◇母親委員会(関プロ第2分科会と共催)・PTA会長予定者研修会
◇教育県民大行動参加・教育講演会開催
4.社会教育(PTA活動)に関する表彰
◇教育表彰・新聞コンクールの実施
5.家庭・学校・地域教育・安全教育に関する広報・安全啓発事業
◇教育情報誌の発行・ホームページの発信
◇親子安全会・扶助会普及事業
6.教育・行政・日本PTA等関係機関との連携事業
◇県市町村教育・行政機関との連携
◇日Pや各県PTA協議会との連携

詳細はホームページをご覧ください

www.nns.ne.jp/ass/nasi-pta



よろしくおわがいたします!

常置委員長よりひと言

総務委員長



宮澤 重夫(笹南中P)
総務委員会は県P理事会をはじめ、各種研究会について計画運営を担当します。また関プロ山梨に関わる会議運営にも積極的に関わってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

情報委員長



秋山 謙一(鶴形北小P)
県P情報「YAMANASHI」の編集・発行、新聞づくり講習会開催と新聞コンクールの実施、またホームページの編集が主な活動です。ご意見を多くいただきながら、より良い情報活動を展開していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

安全会審査運営委員長



山本 清(山城小T)
PTA親子安全会・扶助会の活動が、県下会員の皆様にご有意義なものになるよう努力してまいります。

企画委員長



横森 昌広(穂坂小P)
21年度企画委員長の横森です。宜しくお願いします。今年度の企画委員会の活動では、「家庭教育(モラル)について」アンケート調査を行いたいと思っております。皆様のご協力をお願いします。

母親委員長



廣瀬和代(三富小P)
今年度は関プロ山梨大会の運営が主な活動になります。母親委員の皆様と協力して有意義な大会運営をしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

Table listing board members: 顧問 (山田一功, 天野一, 滝口晴夫), 副会長 (甲府, 島田守, 中巨(南ア), 松本賢司, etc.), 常任理事, 監事, 理事, 郡市事務局長.

平成21年度 県P理事役員

講演テーマ 「親が変われば 子ども変わる」

講師：高橋史朗 先生(明星大学教授)

県P副会長 小田切 保(石和中P会長)

「家庭の教えで芽が出る・学校の教えで花が咲く・地域の教えで実に成る」高橋先生の言葉です。まさに子育ての基本であると感銘しました。我々親は子に何を教えるのか?それは、マナーであり、そのマナーとは「躰」の中に存在するのだと教えられ、また学校生活で必要なマナーも家庭の躰が必要であることにも気付かせていただきました。さて、我々自身も社会生活においてマナーが守られているか

改めて考えてください。携帯電話の使い方や交通ルールなど。「親が変われば 子ども変わる」まさにその通りだと思います。最後にもう一つ高橋先生の言葉を添えたいと思います。「しっかり抱いて、下に降ろして、歩かせる」しっかりと私の心に焼き付けておきたいと思っております。高橋先生には心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

教育講演会レポート

「蕪東中PTA新聞」全国コンクール入賞!!

第31回全国小・中学校PTA広報紙コンクールに蕪崎市立蕪崎東中学校PTA新聞が入賞しました。

全国より小学校4,292校、中学校1,902校、計6,194校の応募の中、中学校の部で最終審査に21校が選出され、みごと「蕪東中PTA新聞」が入選されました。



高根清里小「きよさと」
2年連続
最優秀賞に輝く!!

山梨県PTA協議会新聞コンクールの表彰式が定期総会の席上で行われました。

受賞作品は下記の通りです。

最優秀	北杜市	高根清里小学校PTA「きよさと」
優秀	甲府市	山梨大学教育学部人間科学部附属小学校PTA「きりのは」
優秀	北杜市	高根北小学校「もみじ」
奨励	笛吹市	芦川小中学校PTA「あしがわ」
奨励	蕪崎市	蕪崎東中学校PTA「蕪東中PTA新聞」
奨励	身延町	下部中学校PTA「五老峯」

テーマごとの記事のまとめ方に優れ、見やすくレイアウトされていることが評価されました。
(審査委員長：山日新聞社：武井 功氏評)



みやぎ大会が開催されました

第57回 日本PTA全国研究大会 みやぎ大会 8月21日(金)～22日(土)

「子どもは悪くない、100%親が悪い」

県P情報副委員長 豊泉 嘉伸(上野原西中P)

「世の中にはこれほどの人がいたんだ・・・」

大げさかもしれませんが、私はこれまで生きてきて、これほどすごい人に会ったことはなく、今回ほど感動的な話は聞いたことがありませんでした。とてもとてもまねをすることなどできませんが、とにかくこの和尚さんのことをみなさんにお知らせします。

私が参加した分科会は、第5分科会地域連携で、研究課題が「育てよう!子どもは未来の宝～よその子ではなく、みんなの子どもに～」というものでした。その中の基調講演で、話をしてくれた人が、やんちゃ和尚こと廣中邦充(ひろなかくにみつ)さんでした。この和尚さんがとんでもなくすばらしい人で、自分のお寺(愛知県岡崎市の西居院)で、家出、不登校、非行、ひきこもり、虐待などの問題を抱えた子、虐待を受けた子どもたちを無償で預かり育てています。

困っている人がいればどこへでも飛んでいき、相談に乗ったり、緊急を要するとあれば寺に連れてきたりもします。だからお寺には、沖縄から北海道まで全国様々な所の子どもたち、15～16人が生活しています。12年前から子どもを預かり始め8月15日で761人の子どもたちが卒業していききました。しかし、今も寺に入りたいと希望している子どもたちが2,091名もいて、待っているのです。

和尚さんのお話の中で、心に残っている言葉は「子どもは悪くない。100%親が悪い。」そして、和尚さんは預かった子供が寺を卒業していくときに、その親に「子どもに心から悪

かったとあやまれ。」または、「自分たちの子どもでいてくれてありがとう。」と謝罪させたり、感謝させたりさせているそうです。親が心からこの言葉を言えれば、二度と繰り返すことはないそうです。

そのほか実体験を交えてたくさん話を聞きました。ここでは、紹介し切れませんので興味のある方はそのときのDVD(後ほど手に入る予定)があるのでそれをごらんになって下さい。また、著書も紹介します。

- ・「見えない虐待」(日本放送出版協会)
- ・「やんちゃ和尚—399人の不良少年少女を更生させた熱血坊主—」(竹書房)
- ・「子どもは悪くない」(日本標準)



第五分科会・廣中邦充氏による講演



開会宣言をする本県の天野会長



親子安全会・扶助会だより

◆ 不易流行 ◆

～変えてはいけない事と変わらなければならない事～

すでにお知らせ致しているように、保険業法の改正により、全国のPTA互助会も業法の拘束を受けることとなり、損保会社への移管や、廃業に追い込まれております。

本県の親子安全会におきましても、自主運営による存続をめざし、ここ数年様々な規定、内容の考察や変更、扶助会の設立を行ってまいりました。しかし、私は今回の”黒船の来航”を機会に、むしろ會員のニーズを汲んだ、また、現実在即した改革ができたのではないかと感じています。



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会

会長 滝口晴夫

とかく改革には大きなエネルギーと勇気が必要になるわけですが、設立当初からの主旨と目的(不易)を尊重しながら、時代と共に変化していく(流行)互助組織であってほしいと願っております。県内約13万人の會員が、子どもたちの健やかな成長を願い、會員相互の助けあい精神の下、結び合った組織です。

會員の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成21年6月6日(土)に開催されました山梨県PTA協議会親子安全会定期総会において「親子安全会見舞金給付規定」の一部が下記の通り承認改定されましたのでお知らせします。

見舞金請求期間について

今まで、見舞金請求期間は、「治療期間完了後、1ヶ年を経過して申請なき場合は請求出来ない。」としてきましたが、見舞金給付規定の改定により

事故発生日より、1年6ヶ月を経過して申請なき場合は請求できない。 となりました。

新制度が始まった平成20年4月1日以降発生した傷害事故から適用されています。

交通事故(加害者補償あり)及び児童・生徒を対象とした社会的行事参加中の見舞金の上限について

今まで、交通事故で加害者補償があった場合、また児童生徒を対象とした社会的行事参加中の事故傷害の場合、「入通院20,000円、通院のみ10,000円」の上限がありましたが、これが撤廃され、他の見舞金と同様に、**上限は10万円** となります。平成21年10月1日以降発生した傷害事故より適用されます。

整(接)骨院の見舞金について

整(接)骨院の傷害見舞金は、今まで〔整(接)骨院での治療は7割給付〕となっていましたが、

整(接)骨院での治療は、入通院回数50回まで7割給付、51回以降5割給付 上限70,000円 となりました。

平成22年4月1日以降発生した傷害事故より適用されます。

教育相談事業 教育四者(PTA・校長会・教頭会・教育会)による教育相談室

山梨県PTA協議会、校長会、教頭会、教育会の教育四団体は、教育相談室を開設しています。相談員は学校現場を退職した教員のOBで、教育現場で最も活躍し、児童生徒とのふれあいも多かった先生方です。また、長年相談活動を手がけており、県教育委員会から教育相談員として任命もされています。子育てなどに関わる悩み事、心配事がありましたら気軽にご活用ください。

相談会場等案内

相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	第2・4水	丸山 森人
	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438	055-265-2117	第1・3月	渡辺 明文
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡鵜沢町795-4	0556-22-1500	第1・3水	土橋 士郎
	中巨摩	南アルプス市西野1294	055-282-5070	毎週金曜	横小路充子
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	第1・3月	櫻井八州彦
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随 時	長田美紀子
	北都留	北都留教育会館	大月市大月二丁目8-29	随 時	渡邊 純子
全 県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-9-10	055-228-1342	随 時	小田切道之 塚原 泉

編集後記

季節的に各地では運動会をはじめ様々な取り組みが始まりました。身体は躍動し、心は爽快な気持ちになります。一年で一番フレッシュで活躍の時期と言えます。さて今号では山梨県PTA定期総会や日本PTA全国研究大会の様

子、また情報委員会の大きな取り組みでもある新聞コンクールの表彰について紹介させていただきました。

次号では「日本PTA全国協議会・関東ブロック研究大会」の様子をお伝えしたいと思います。

情報委員長 秋山 謙一